

お口のくち

健康情報室

低ホスファターゼ症（HPP）

は、骨や歯の石灰化を促す酵素の活性が、低下または欠如することによって引き起こされる遺伝性の病気です。

発症すると石灰化が起きづらくなるため、骨が弱くなった

り、歯が早く抜けたりするなど、様々な症状が現れます。乳児期には命に関わることもあり

ますが、軽度であれば成人まで診断されないこともあります。特に気を付けなければならない症状は、乳歯が早く抜けることです。通常、乳歯は6

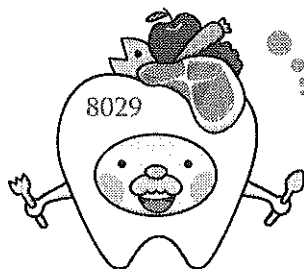
遺伝性HPP 早期発見を

歳頃から抜け始めますが、HPPの場合、4歳未満でも抜けることがあります。その割合は約8割を占め、抜けた乳歯の歯根が長いのが特徴です。

HPPの診断や治療は小児科や整形外科などが中心に行いますが、口内の機能を維持するためには歯科の専門性が欠かせません。かみ合わせの管理や、正しい歯の磨き方など、歯科医は継続的に歯の保護指導に関与することが必要です。

HPPの早期発見には、医科と歯科の連携が重要です。歯科医が乳歯の早期脱落などの症状に気づき、小児科へつなげることで見つけられるケースも少なくありません。

HPPのような症例の少ない病気は、専門知識を持つ医療者に出会うことが難しいという事情もあります。複数の症状が複数の診療科にまたがるため、横断的な視点も必要です。見逃されたかもしれない命のサインを発見する可能性を高めるためにも、医科と歯科の強い連携が求められます。



「8029運動」PRキャラクター もぐい